

たちばな

社会福祉法人橋会理事長 田浦直

大きなランドセルを背負った一年生が、お母さんに連れられ入学式に通う例年四月の風物詩が今年は違った。全国でも新型コロナウイルスで休校となる学校が相次いだ。幸いなことに長崎県はすべての学校で入学式が行われた。子供たちの笑顔を見てホッとしたのは 私ひとりではないだろう。

全国の病院で感染が広がりクラスター現象が起こって新型コロナが広がっている。われわれ知的障害者施設でも他所ごとではない。一人の職員、一人の利用者の感染は施設全体の活動を麻痺させるのは周知の事実である。我慢に我慢を重ね、辛抱に辛抱を重ね、万全の予防を続け、この難局を乗り越えよう。

潮見が丘学園も二十年を迎えようとしているが、このたびグループホームしおさいに続き、当法人で二棟目となる、しおさいⅡが完成し、利用者によりよい環境を提供出来るのではないかと期待している。またその中に新たに地域交流センター(なぎさ)を立ち上げ設備を整え、周辺地域の方々との交流を深めていきたいと願っている。



令和2年4月30日発行
潮見が丘学園
長崎市潮見町567-17
TEL 095-830-2726
FAX 095-830-2769

4月1日 地域交流センターなぎさオープン



グループホームしおさいⅡの1階に併設された地域交流センターなぎさが4月1日にオープンいたしました。
なぎさでは地域住民の身近な施設として、気軽に立ち寄ることができる場所にしたいと考えています。さまざまなイベント、介護教室、音楽会やリトミックなど子供からお年寄りまで幅広いかたがたを対象に、皆さまが楽しんでいただけるように意見もいただきながらあらたな企画を考えています。
(田浦由)



しおさいⅡ

しおさいⅠ

4月1日に開所したしおさいⅡには潮見が丘学園から6名、しおさいⅠより移動された3名の方が入居となりました。女性ばかりということ毎日にぎやかに、楽しく生活されています。



しおさいⅠで生活されていた女性利用者の方が新設されたしおさいⅡに引越されられた為、4月1日より新たに3名の新規利用者の方を迎え、男性9名で新生活を開始しました。皆さん楽しそうに過ごされています。



今年、全国でウイルス感染予防の為、ドライブを中心として、三月二十三日から三月二十日までお花見学へ出掛けました。午前や午後の活動の時間を利用したので一年に一度のお花見弁当の持参はなく残念がる利用者もいましたが、好きなお菓子やジュースを購入し、車を走らせました。開花が予想されていた初日は天気に恵まれましたが、まだ沿道の桜は蕾が多く少ししか咲いていませんでした。それでも、少し咲いている桜を見て嬉しそうにされていました。(江崎)

花見



5月6日までコロナウイルス感染予防のため通所、短期入所の利用をお断りしています。再開でき次第、ご連絡致します。

お知らせ



お花が咲きました。潮見が丘学園利用者と職員で植えた球根が春になり、きれいに咲きました。

